

# レポート 掲 示

## Report Assignment

【 文・経・法律・政治・商・医・理・薬 】

【 Faculty of Letters, Faculty of Economics, Faculty of Law, Faculty of Law, Faculty of Business and Commerce, Faculty of Medicine, Faculty of Science and Technology, Faculty of Pharmacy 】

担当者名 Lecturer	福田 桃子 君 MOMOKO FUKUDA
科目名 Course Title	文学Ⅱ LITERATURE 2
曜日時限 Day・Period	木2 Thu. 2nd Period
題目 Subject of Report	<p>以下の①②のいずれかを選んで論述してください。 (どちらを選んだか明記してください)</p> <p>① 仏文学者・鹿島茂は、日本においてファム・ファタルの物語は成立しないと述べています。以下の引用について、授業で取り上げた作品を参照しながら、具体的に論じてください。</p> <p>「男尊女卑の観念が染み込んだアジアの儒教社会や、一夫多妻制のイスラム社会などでは、不倫物語はあっても、女が完全な主導権を握って男の鼻面を引きずり回す型のファム・ファタル物語は成立しないわけです。あるのかもしれませんが、少なくとも表面には出てきません。ファム・ファタルというのは、やはり、女性に対するギャラントリー(女性に対する礼節)が恋愛の前提となっているヨーロッパ型社会でなければ存在しえないものなのです。」(鹿島 茂『悪女入門 ファム・ファタル恋愛論』 p. 13)</p> <p>② 歴史学者・池上俊一は以下のように述べています。以下の引用について、授業で取り上げた作品を参照しながら、「女性嫌悪(ミソジニー)」とファム・ファタルの関連について、具体的に論じてください。</p> <p>「十九世紀から二十世紀にかけて、女性解放・男女同権・女性の社会進出へ向けての取り組みが曲がりなりにもおこなわれるようになったとしても、それにもかかわらず、中近世の「魔女と聖女」に象徴される男性による女性存在への畏怖・嫌悪と憧憬の念は、すっかり消え去ることはなく、より文学的・芸術的で洗練されたかたちではあれ、つぎつぎ新たな表象が創られていった事実も覚えておこう。もっとも注目すべきは、「宿命の女」、ファム・ファタル (femme fatale)の形象であろう。」(池上俊一『魔女と聖女』p. 246)</p>
書式 Format	サイズ (Size) : A4 書式 (Format) : 横書 Horizontal 枚数 (Number of sheets) : ( 2500 字以上) ※提出期間:2022 年 1 月 17 日(月)~2022 年 1 月 31 日(月)23 時 59 分 ※12 月 27 日付の「お知らせ」のスライドにレポート作成上の注意点をまとめてありますので、必ず一読してから取り組んでください。
提出先 Submission 日程 Date	授業支援「レポート」/Canvas LMS より提出 ( To be submitted through "Report" in the Class Support System / Canvas LMS )